

法皇○鳥羽御覽之後同返遣法皇内々仰稽古之輩被勸吉凶粗申不快之由云々又入道相國仰直講中原師元被勸之申吉祥之由云々而今年自春及夏炎上連々遂及皇居可謂天文珍禽奇獻不畜國誠哉斯言

〔台記〕久安四年閏六月五日辛酉巳剋著宇治新堂御所依御物忌不參西殿中爲御使持來毛龜西海人所奉云

云余藤原賴長著冠直衣見之甲徑三許寸其上多毛其毛長殆及一寸毛色青先日獻此龜之時禪閣藤原忠實

仰才士令勘吉凶所申不同前直講師元子時母服解了獨申云御子孫間皇后女御早產宸宮之主遂爲南面之母之象也又云備御覽之後可放御池抑瑞龜之時被申神社貢進之人祇有勸賞云々今日吉日仍覽之

〔百練抄七近衛〕久安四年閏六月五日宇治大相國藤原忠實覽毛龜於法皇鳥羽先仰師元令勸吉凶

〔閑田耕筆三〕海龜は尾のふさやかなるもの也おのれはりま高砂の沖にて水中にをるを見たり守興和尚の話にこのもの岸に登りて卵を産み身をもてよく地を堅めて人ぞらぬやうに構ふ人も亦是はゞかりて是をとらず取れば祟りて其年漁りても魚を得がたし龜は龍王に次で海中に勢ある物なればとかやさて彼卵を埋みたる所の遠近をとめて其年の波の高と低を占ふ下略

〔桃源遺事五〕一西山公○徳川光圀むかしより禽獸草木の類ひまでも○中この國○常陸へ御うつしな

され候○中略

介并魚之類 龜俗云ミノカメ又云キツカワカメ後樂園并西山蓮池へ御はなち候

〔重修本草綱目啓蒙三十一〕朱鼈 ドウマン 備前 ゼニガメ 防州

備前岡山ニ多シ腹下赤クシテ朱ノ如シ雲州ニハ海水ノ川ニ通ズルトコロニアリ形狀鼈ニ似テ鼈ニ非ズ龜ニ似テ龜ニ非ズ大サ一寸餘腹赤色微黄ニシテ黒點アリ人背ニ粘著シテ沈メシ

朱鼈